屋内・上履き用

CWF-612N・CWF-612WN

＊CWF-612N・CWF-612WNは捨て貼り工法専用です。

施工説明書

製品の特性を充分に生かし、安全に美しく仕上げるために、施工の前に必ず本説明書をご一読ください。

安全上のご注意　表示方法

■表示内容を無視して誤った工事・使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明します。

この表示の欄は「取り扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負うことが想定される危害の程度」をいう。

この表示の欄は「取り扱いを誤った場合、使用者が損害を負うことが想定されるか、または物質的損害の発生が想定される危害・損害の程度」をいう。

⚠警告

1. ワックス仕上げを行う場合、滑りやすいものは避けてください。転倒事故の原因となります。
2. 施工完了後、引き渡し前に必ず工事管理者の安全点検を受け、不良箇所については補修してください。

⚠注意

1. 本製品は一般住宅（屋内）の上履き用です。
2. 土足用としては使用しないでください。
3. よく水のかかる場所、湿気の多い場所には使用しないでください。

※誤った施工における苦情、返品、お取り替えには応じかねます。

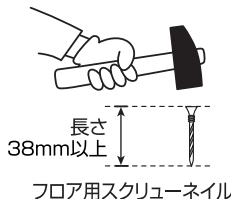
共通　床暖房用として使用する場合／床暖房用として使用しない場合

1. 施工の前に

1. 床材の取り扱い

1. 床材は絶対にぬらさないでください。また直射日光は避けてください。開梱後速やかに施工してください。
2. 床材は水平に保管してください。（立てかけたり、地面に直接置かないでください。）

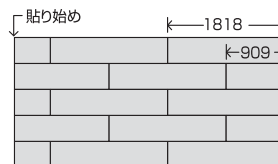
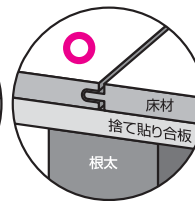
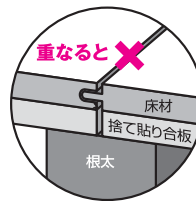
2. 道具の準備

専用接着剤とフロア用スクリューネイルの併用

＊フロア用スクリューネイルを石膏ボードに固定するだけでは保持力はありませんので、石膏ボードの下の下地まで固定できる長さのフロア用スクリューネイル（48mm以上）を使用してください。

その他、施工に必要な道具を用意します。

- エアタッカーのコンプレッサーの圧力は、釘頭が残らないようによく調整してください。

使用しない!
- 専用接着剤以外の接着剤
- 通常釘
- フィニッシュネイル

3. 割り付け

- 貼り出しは、必ず左隅から始めてください。
- 短辺接合部は隣り合わせにならないよう909mmずらしのレンガ貼りにしてください。

捨て貼り合板の継ぎ目と床材の継ぎ目が重ならないようにしてください。

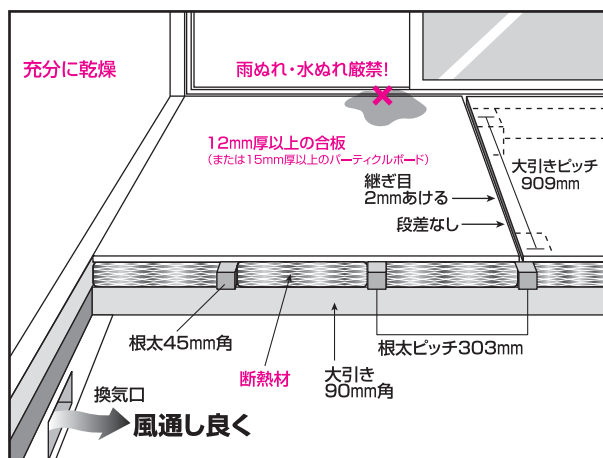
4. 仮並べ

- 床材の表面は、天然材を使用していますので1枚ごとに色柄が異なります。施工前に仮並べを行い、色柄のバランスを考慮して割り付けてください。（塗料の吸い込み量によっても多少の色違いはあります。）

〈お願い〉4ページに「美装作業時の注意事項」を記載しています。施工完了後、美装業者様にお渡しください。

床暖房として使用する場合

2. 施工手順

1. 下地の状態

1. よく乾燥して、風通しがよいこと。
   建築基準法施工令:外壁の床下部分に長さ5m以下ごとに300cm²以上の換気口の設置。
   床下の通風が悪く、湿度が高くなると床材の反り、突き上げ、くされなどの原因になります。
2. 根太は乾燥材（含水率15%未満）を使用してください。
   （根太の施工状態については4ページ<根太組みの場合>をご覧ください。）
3. 12㎜厚以上の充分に乾燥（含水率15%未満）した合板を捨て貼りしてください。
   ⇨捨て貼り合板に段差があったり、高含水率（15%以上）、下地の強度不足があると施工後の突き上げ、目すき、変色、段違い、床鳴り、波打ちの原因になります。

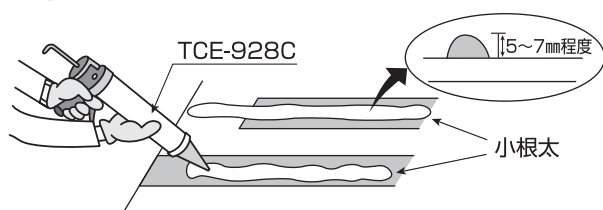
※根太間に断熱材を入れてください。
（断熱材は住宅金融支援機構割増融資基準以上の厚みのものを使用してください。）

〈熱 源 体〉

1. 熱源体の種類によって釘打ち可能箇所が異なりますので、熱源体の取扱説明書で確認してください。
2. 小根太付きタイプの熱源体は、小根太と床材が直交するように熱源体を割り付けてください。熱源体とボーダー部分との段差は1mm以下にしてください。

2. 下地に接着剤を塗布

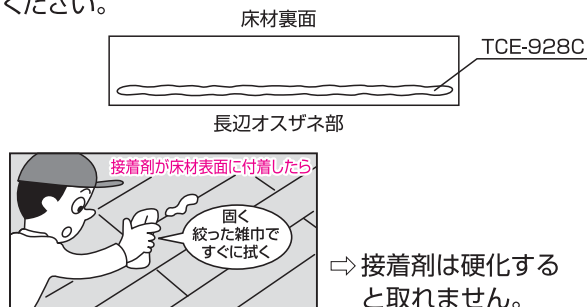
A. 小根太付きタイプ

● 小根太上および、小根太延長上に接着剤TCE-928Cを塗布してください。

B. ハードパネルタイプ

● 接着剤TCE-928Cを釘打ち可能箇所に300㎜ピッチで塗布してください。

3. 床材裏面に接着剤を塗布

床材裏面の長辺オスザネ部に接着剤TCE-928Cを塗布してください。

⇨接着剤は硬化すると取れません。

4. フロア用スクリューネイルで固定

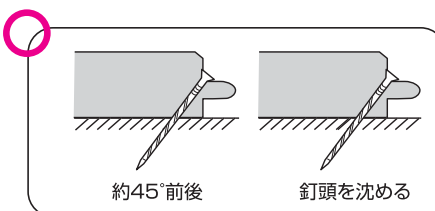
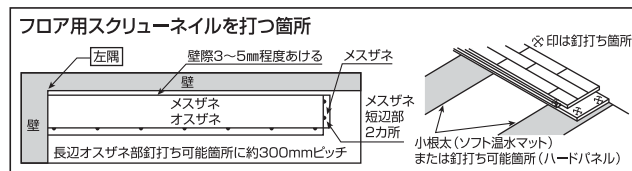
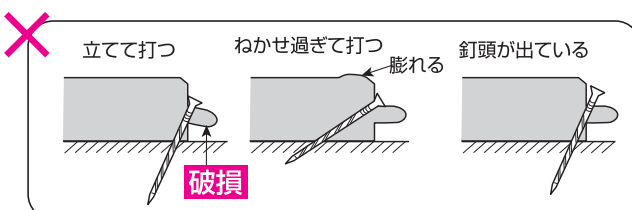
A. 小根太付きタイプ

● 小根太上にあるオスザネ部にフロア用スクリューネイルを打ってください。
● 短辺部メスザネにもフロア用スクリューネイルを2本垂直に打ってください。

⚠注意
小根太以外の箇所には釘を打たないでください。

B. ハードパネルタイプ

● 根太位置線（釘打ち可能箇所）にフロア用スクリューネイルを打ってください。
● 短辺部メスザネにもフロア用スクリューネイルを2本垂直に打ってください。

⚠注意
釘打ち箇所以外には釘を打たないでください。

● フロア用スクリューネイルは約45°前後で打ち込んでください。
● 釘頭が出ないように、ポンチで沈めてください。
（沈め過ぎないように注意してください。）

● フロア用スクリューネイルを立てて打つと、オスザネが破損し、メスザネが入りにくくなります。逆にねかせ過ぎたり、沈め過ぎると、表面にフクレがおこる場合があります。
● 打ち込み角度が45°よりずれると表面にフクレがおこる場合があります。

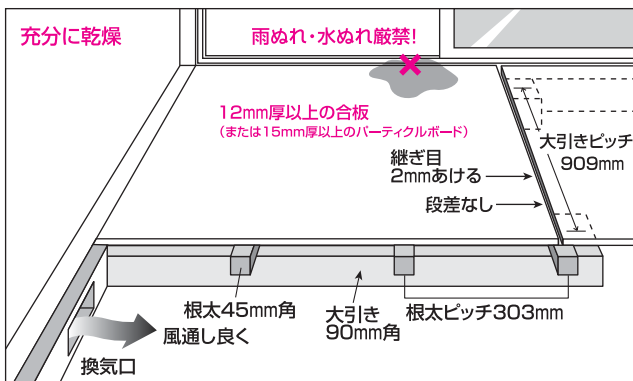
※養生、美装作業は4ページをご覧ください。

2. 施工手順

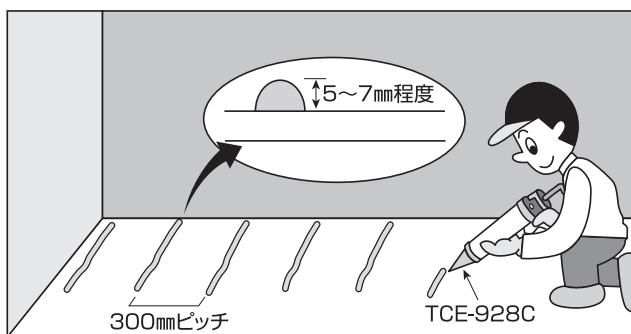
1. 下地の状態

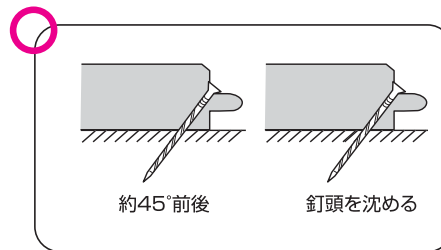
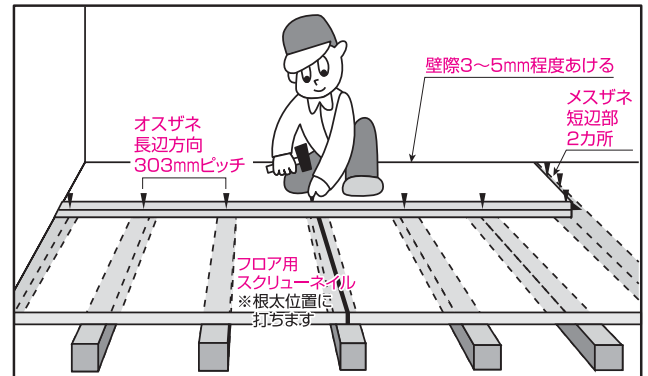
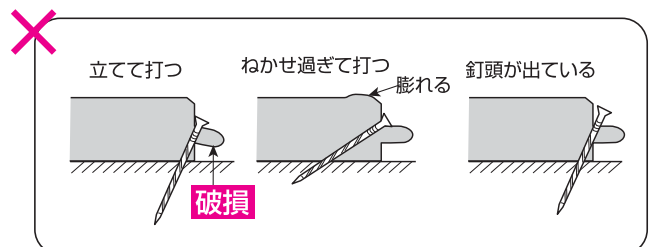
1. よく乾燥して、風通しがよいこと。
   建築基準法施工令：外壁の床下部分に長さ5m以下ごとに300c㎡以上の換気口の設置。
   ⇨床下の通風が悪く、湿度が高くなると床材の反り、突き上げ、くされなどの原因になります。
2. 重量物を置く部屋の場合は、根太間隔を狭くしてあらかじめ補強してください。

CWF-612N、CWF-612WN、は捨て貼り工法専用です。

〈捨て貼り合板の施工〉

- 12 ㎜厚以上の充分に乾燥(含水率 15%未満)した合板を捨て貼りしてください。
  ⇨捨て貼り合板に段差があったり、高含水率(15%以上)、下地の強度不足があると施工後の突き上げ、目すき、変色、段違い、床鳴り、波打ちの原因になります。

2. 接着剤の塗布

- 捨て貼り合板上に接着剤TCE-928Cを短辺方向に300mmピッチで塗布してください。

3. フロア用スクリューネイルで固定

- フロア用スクリューネイルを長辺方向オスザネに303㎜ピッチ、短辺部メスザネに 2 カ所打ってください。

- フロア用スクリューネイルは約４５°前後で打ち込んでください。
- 釘頭が出ないように、ポンチで沈めてください。
  (沈め過ぎないように注意してください。)

- フロア用スクリューネイルを立てて打つと、オスザネが破損し、メスザネが入りにくくなります。逆にねかせ過ぎたり、沈め過ぎると、表面にフクレがおこる場合があります。
- 打ち込み角度が4 5°よりずれると表面にフクレがおこる場合があります。

※養生、美装作業は４ページをご覧ください。

3. 養生

施工後は水分や直射日光を避け、キズがつかないようにすき間なく充分に養生してください。

- 換気は充分にしてください。高温多湿の状態で閉め切っていますと、床材の突き上げの原因になります。

①養生前にきれいに清掃してください。

- 砂やゴミが残っていると、床材表面にキズがついたり、目地に入り取れにくくなりますので注意してください。

②養生シート、養生テープは必ず床養生専用製品を使用して、床材表面を保護してください。

- 床養生専用品以外のものを使用すると、床材表面を傷めたり変色、ワックスのはじきが生じたり、粘着剤が残ることがあります。

※養生はすき間なく行って行ってください。

コルク製品は光により色があせる「退色」という性質があります。光が当たる箇所と光が当たらない箇所の色合いに差が生じることがありますので注意してください。

- 養生シートの上から、ペンキや雨水等がかかるとシミになることがありますので注意してください。
- 脚立や重量物を使用する際には、合板等の硬い材料で床材を保護してください。

③すべての工事が終わり、脚立や道具等を持ち込まなくなってから養生シートをはがしてください。

- 養生テープをはがすときは、床材にキズを付けないように、ゆっくりと注意してはがしてください。

〈工事店様へのお願い〉

この注意事項を必ず美装業者様にお渡しください。

美装業者様へ

美 装 作 業 上 の 注 意 事 項

- 水洗いは厳禁です。洗いの際はぬれ雑巾を避け、乾いた雑巾やモップをご使用ください。やむを得ない場合は、固く絞った雑巾をご使用ください。
- ワックスがけに際しては下記の事項を厳守してください。

※CWF-612N、CWF-612WN をご使用の場合、専用ハードコート用樹脂ワックス「U-800」（別売り）をご使用ください。

〈ワックスをかける前に〉

- ワックスをかけるときは、床材表面が充分に乾燥している（水気がない）ことを確認してください。
- 床用洗剤を使用する場合は、洗剤分を拭き取ってからワックスを塗ってください。
- ワックスがけ前後に化学雑巾は使用しないでください。
- 室温が 5℃以下のときや、雨天で湿度が極端に高いときは、ワックスがけをしないでください。

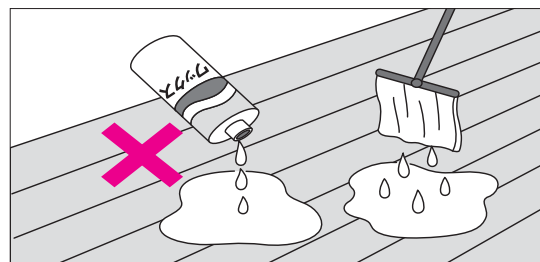
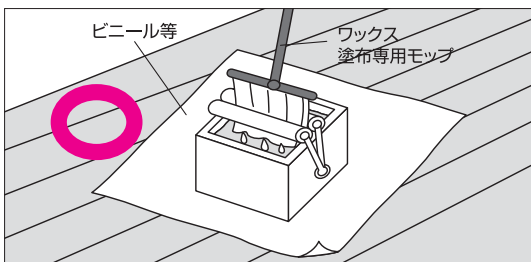
⇒ワックスがはじいたり、床材表面が白っぽくなる場合があります。

- ワックス剥離剤は、床材の表面塗膜を侵しますので、絶対に使用しないでください。

〈ワックス使用時〉

- ワックス塗布専用モップを使用し、しずくが落ちない程度に絞ってください。
- 床材表面に薄くムラなく（均一に）塗布してください。
- 目地にワックスが溜まらないように注意してください。

- ワックスは絶対に床材の上には流さないでください。

（床材の継ぎ目や溝からワックスがしみ込むと、シミや膨れの原因となります。）

〈作業終了後〉

- 工事完了後は雨水等にぬれないよう窓の閉め忘れなどにご注意ください。万一、水にぬれた場合はすぐに拭き取ってください。ぬれたまま放置すると、寸法変化、シミ、膨れなどのトラブルの原因になります。

人・地球を考える
東亜コルク株式会社
本　　社　大阪府大東市新田中町5-1　TEL.072-872-5691　FAX.072-872-5695
東京営業所　東京都台東区元浅草2-7-14 保坂ビル2階　TEL.03-3833-5691
ホームページ　http://www.toa-cork.co.jp

1310 (005) AH